



石田 ヴァイオリン 泰尚 リサイタル Artists' Profile

神奈川県フィルハーモニー管弦楽団ソロ・コンサートマスター
京都市交響楽団特別客演コンサートマスター

石田 泰尚 Yasunao Ishida

〈ヴァイオリン〉

国立音楽大学を首席で卒業。同時に矢田部賞受賞。YAMATO弦楽四重奏団(現YAMATO String Quartet)のメンバーとして、大曲(おおまがり)音楽祭グランプリ・松尾学術振興財団より特別奨励賞・大阪国際室内楽コンクールファイナリスト・FMリサイタル・新日鉄コンサート「プロミシング・アーティストシリーズ」等に出演。22歳の若さで新星日本交響楽団副コンサートマスターに就任。2年後、同楽団のコンサートマスターに就任。2000年、世界初録音となる山田耕筰の弦楽四重奏曲のCDをリリース。2001年4月より神奈川県フィルハーモニー管弦楽団ソロ・コンサートマスターに就任。同年10月、故羽田健太郎氏(ピアノ)、村井将氏(チェロ)と“トリオ・アパッショナート”を結成。2003年、ソロ・デビュー・アルバム「情熱のヴァイオリン～Violin Appassionato～」をリリース。2005年、2ndアルバム「Dolce Violin～優美なるヴァイオリン」をリリース。2006年、3rdアルバム「Pure Violin」をリリース。2007年、村井将氏(チェロ)、下森佳津美氏(ピアノ)らと「Hyper Classic」をリリース。2008年、YAMATO弦楽四重奏団(現YAMATO String Quartet)による「弦楽四重奏のための日本民謡」がリリース。同年7月、山本裕康氏(チェロ)とのDVD『Duo』が発売される。10月、神奈川県文化賞未来賞受賞。2009年「ブラームス/ヴァイオリンソナタ全曲集(2009年1月ライブ録音)」をリリース。2012年、横浜文化賞文化・芸術奨励賞を受賞。2014年、硬派弦楽アンサンブル「石田組」を結成。2016年、日本テレビ「嵐にしやがれ」出演。2017年、石田組デビューアルバム「THE石田組」発売。2018年、NHK-FM「ベストオブクラシック」BSプレミア「クラシック倶楽部」に石田組初登場。2019年、石田組がサントリーホールに初登場。2022年、石田組でNHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」スペシャルコンサートに出演。初の著書となる「音楽家である前に、人間であれ!」を刊行。2023年、メジャーデビューアルバムとなる「石田組2023・春」をユニバーサルミュージックより発売。石田組2023/2024アルバム発売記念ツアー(27会場、30公演)を開催。

中島 剛 Nakajima Go

〈ピアノ〉

東邦音楽大学を首席で卒業。第64回読売新人演奏会出演。1996年からハンガリー国立リスト音楽院に学ぶ。ウィーンでのピアノ・リサイタルなどを経て、2002年にウィーンを訪問された天皇皇后両陛下の歓迎レセプションにて、ウィーンの若き音楽家の一人として紹介された。シャネル銀座のCHANEL NEXUS HALLにてCHANEL Pygmalion Days(2005年)、坂本龍一プロデュース「ロハスクラシック・コンサート2006」などへの参加をはじめ、多くのリサイタルを開催し常に好評を博している。また、ジョン・健・スツォ、ウィーンフィル コン서트マスター ライナー・キュッヘル、ソプラノ 唐澤まゆ子、マリンバ 池上英樹、ソプラノ 柴田智子、ウィーンフィル トーマス・ヴィンクラット、神奈川県フィル ソロコンサートマスター 石田泰尚の各氏などとの共演するほか、ヴァイオリン MASAKIの録音に参加しCDをリリース。2008年には自身のファーストアルバム『SUMMER SKETCH』をリリース。日本各地での演奏活動のほか、「シヨコラ ド マリア・カラス」では柴田智子氏、浅倉大介氏と共演。演奏と役者を演じ、アトリエダンカンプロデュース、ミュージカル「カルテット」(2012年4月)に出演。また、J-WAVE「ロハストーク」(2010年1月)に出演するなど多岐にわたって活動を展開。今後ますます期待される注目のアーティストである。

